

News Letter

Topic 1

マイウェルボディ協議会が発足されました（C-2）

研究開発テーマC-2 「女性のボディイメージと健康改善のための研究開発」（研究開発責任者：順天堂大学 教授 田村 好史）

女性の生涯の健康に取り組み、身体的・精神的・社会的な真の健康が保たれている「ウェルボディ」を啓発するため、2024年3月7日（木）順天堂大学にて、マイウェルボディ協議会記者発表会を実施しました。

マイウェルボディ協議会は「ひとりひとりが自分らしく、心地よくあり続けられる健康な身体を、自らの意志で選択できる社会をつくる。」をパーパスとし、若年女性の5人に1人が健康リスクのある「痩せ」状態にある日本社会において、痩せたい気持ちを過剰にかき立てる社会の変革を目指していきます。



午前の発表会では本協議会の代表幹事である田村 好史先生、また副幹事の室伏 由佳先生より「ウェルボディ」の考え方から、日本の若年女性の体型認識と女性の健康を害する痩せについての社会的背景と課題を解説し、協議会の今後の展望について説明いただきました。

続く午後のトークセッションでは、莉子さん、菅本 裕子さん(ゆうこすさん)、辻 希美さん、杉浦 太陽さんをお招きし、ウェルボディについて考えていただく時間となりました。

記者発表会は各種多数のメディアにも取り上げられ、一時はYahoo! ニュースのトップ記事になるほどその反響は大きく、痩せに偏りがちな体型の多様性の理解について、国民の皆様にも広く周知いただけたのではないかと考えています。

すでにマイウェルボディ協議会へは、花王株式会社、株式会社ルネサンス、味の素株式会社が参加し、共に関連商品の開発促進やウェルボディの社会実装に向けて、開始しています。



SIP「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」では、引き続き女性が生涯を通じて心身ともに健康で幸福な生活をおくるための包摂的な社会実現に向けて、研究開発を進めてまいります。マイウェルボディ協議会の発展と共にご期待ください。

Topic 2

しずちゃんの呼びかけ、大きな話題に（A-2）

研究開発テーマA-2 「多様性寛容の共創システム開発 -『違いがあっても大丈夫』と共育しあえるコミュニティ構築-」（研究開発責任者：立命館大学 教授 清家 理）

2024年3月30日（土）京都大学にて、「多様性を認めあうこととは？ —いま私たちにできること—」シンポジウムを開催しました。

当日は研究開発テーマの研究開発者以外に、お笑いコンビ・南海キャンディーズのしずちゃんこと山崎 静代さん、NPO法人レインボーハートokinawaの竹内 清文理事長より講演をいただき、



続くパネルディスカッションでは講演をいただきました皆さま及び津山市立勝北中学校の児島 みどり校長と、研究開発者、サブプログラムディレクターにて、シンポジウムのタイトルでもある「多様性を認めあうこととは？ —いま私たちにできること—」をテーマにディスカッションをいただきました。

山崎 静代さんの自身の体験をもとにした講演は、自分らしく生きるための助言とともに参加者へ呼びかけられ、多数のメディアにも取り上げられました。

Topic 3

YouTube再生回数、54万回達成！（C-1）

研究開発テーマC-1 「地域住民の包摂性向上と妊婦・子育て女性のWell-being最大化に向けた社会技術の開発」（研究開発責任者：筑波大学 准教授 松島 みどり）

研究開発の一環である、人気インフルエンサーのロバート秋山さんによるイイイヤ期のこどもをテーマにした動画について、2024年2月に発刊したVol.1では、再生回数44万回とお伝えしていましたが、2ヶ月経過した2024年4月現在、その再生回数は脅威の54万回まで達しました！

再生回数 **54万回**



ママもまんなか!スマイル健幸カフェ
<https://www.youtube.com/@mpupjp>

ロバート秋山さん演じるイイヤ期真っ最中のりゅうみちゃん
 が印象的ですが、実は番組自体はとっても真面目です。
 この動画は、インフルエンサーと番組構成の工夫で一定数の
 無関心層の引き込みを行う広報技術の開発のために行われ
 ており、関根勤さん、麻里さん親子、よしお兄さんこと
 小林よしひささん、分担研究開発責任者の塚尾晶子先生、
 そしてプログラムディレクター久野譜也先生との軽快なトーク
 の中で、運動や健康に関する専門的なお話を、楽しくわかり
 やすく伝えています。

この結果を分析し、研究開発テーマC-1では、無関心層へ
 の認知率向上・普及する際の溝を越える社会技術の研究
 開発を更に進めていきます。

各テーマのイベント予定、お知らせは、下記Webページでも公開していきますので、ご確認ください！

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所

〒567-0085
 大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8
 TEL: 072-641-9870 FAX: 072-641-9831
 Mail: sip3-housetsu@nibiohn.go.jp

〒100-0013
 東京都千代田区霞が関3-4-2 商工会館7階
 TEL: 03-6273-3511 FAX: 03-6273-3512



<https://www.nibiohn.go.jp/sip3-housetsu/>

